

科学で大切なことは、疑問を見つけられること、そして、自らの観察や実験の結果から疑問を解決できる力を養うことです。以上の考え方、プロセスを楽しいプログラムで体験してみましょう。

ねらい

自然の中から自ら疑問を見つけて出し、観察や調査、実験を通して疑問の答えを推察する（導く）ことができるようになる。

達成目標

- ・クモの巣とクモの形状についての正しい情報を説明できる。
- ・何らかの傾向や法則性をみつけだせるようになる。
- ・どのようにすれば自ら疑問を解決することができるのか、コメントできるようになる。

導入

ワークシートの、クモの巣とクモのイラストを見せて、間違い探しをしてもらう。

ふりかえり・わかちあい

今日の課題を解決することについて、作業を通して気づいたこと、考えたことを話し合う。特に、どのようにして課題が解決されたか、というポイントに注目する。

実施のポイント

個人活動よりも、グループ活動として実施した方がよい。最初に個人で考え、その後グループで紹介しあい、話し合う、というスタイルをとるとよい。

◆所要時間	60分～90分
◆人 数	4人ぐらいのグループで1班 何班あってもよい
◆関連教科等	総合的な学習の時間、理科
◆焦点を当てる能力	考える、観察する、指摘する、一般化する、試行錯誤する、（考えを）まとめる
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード 筆記用具
◆安全のポイント	活動の範囲、危険の予想などをフィールドワークの前に伝えておく

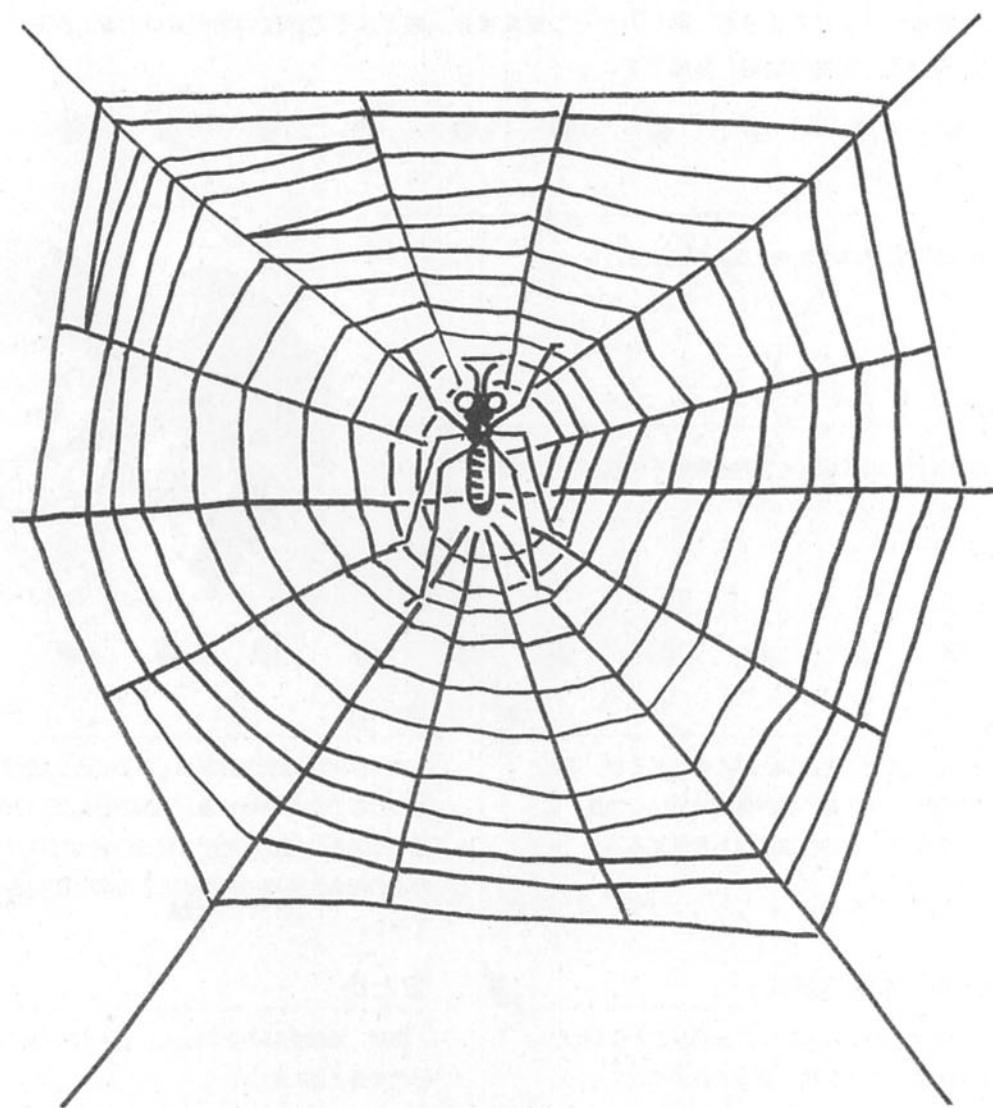


本体

実際にクモの巣をさがし、「間違い」と指摘した部分について観察をする。次に、以上の活動の結果、何らかの傾向や法則性がなかったか思いめぐらしてみる。最後に、今日の課題として「どうしてクモは自分の巣にかかるのか」・「どうしてクモは下向きにとまっているのか」といった課題を出し、グループで考えてもらう。

まとめ

科学の心として、自然の中から疑問をみつけること、自ら課題を解決するために何をしたらいいのか知ること（その能力を持っていること）が大切であることを伝えよう。



1. イラストの間違いさがし

す
巣をみないで考えてみましょう。

かんさつ
かくにん
巣を観察して確認しましょう。

2. みつけましょう

きもん
かいけつ
巣を観察して、疑問を発見しましょう。（疑問を解決する方法は？）

ほうそくせい
クモやクモの巣に法則性をみつけましょう。（どんなことがいえるかな？）

3. 今日の課題 「 」

こんきょ
どうしてか、理由を考えてみましょう。（その根拠もあきらかに！）

ちしき
※今までの知識にたよらずに直接、観察して発見したことを大切にしましょう。